

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和4年2月14日(2022.2.14)

【国際公開番号】WO2020/039682

【出願番号】特願2020-538183(P2020-538183)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/18(2006.01)

H 0 2 K 15/02(2006.01)

H 0 2 K 15/095(2006.01)

10

【F I】

H 0 2 K 1/18 C

H 0 2 K 15/02 D

H 0 2 K 15/095

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月3日(2022.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステータを備え、

前記ステータは、複数の連結コアを備え、

前記連結コアは、連結部を介して連結された複数のピースを備え、

前記複数のピースは円弧状に配置され、

前記複数の連結コアは環状に配置される、

モータ。

30

【請求項2】

前記ステータは、3個の前記連結コアを備え、

前記連結コアは、4個の前記ピースを備える、

請求項1に記載のモータ。

【請求項3】

前記ピースに巻回されるコイルが電気接続された接続板を備える、

請求項1または2に記載のモータ。

【請求項4】

周方向において、前記複数のピースのうち、前記2つのピースに巻回されるコイルの巻

回方向は、同じ方向である、

請求項1～3のいずれか一つに記載のモータ。

40

【請求項5】

前記連結コアが4個の前記ピースを備え、

周方向において、前記複数のピースのうち、両端に位置する2つのピースに巻回された

コイルの巻回方向は一方向であり、両端の間に位置する2つのピースに巻回されたコ

イルの巻回方向は前記一方向と反対の方向である、

請求項4に記載のモータ。

【請求項6】

前記複数の連結コアのうち、互いに接触する2つの連結コアはそれぞれ接触部を備え、

前記2つの連結コアが有する接触部には、径方向に延在してシャフトを通過する面に交

50

差する面が設けられている、

請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載のモータ。

【請求項 7】

前記複数の連結コアが有するピースの数が偶数であり、

前記複数の連結コアの数が奇数または素数である、

請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載のモータ。

【請求項 8】

ステータを備え、

前記ステータは、複数の連結コアを備え、

前記連結コアは、連結部を介して連結された複数のピースを備え、

前記連結部の側部は、凹部を備え、

前記複数の連結コアは環状に配置され、

前記凹部には弾性部材が配置される、

モータ。

【請求項 9】

前記弾性部材は、前記複数の連結コアの凹部に配置されている、

請求項 8 に記載のモータ。

【請求項 10】

前記弾性部材は、前記複数の連結コアの凹部のうち一部に配置される、

請求項 11 に記載のモータ。

【請求項 11】

ハウジングを備え、

前記複数のピースの外周部は前記ハウジングの内面に接触する、

請求項 8 ~ 10 のいずれか一つに記載のモータ。

【請求項 12】

前記複数のピースのうち、前記連結コアの両端にある 2 つのピースの外周部には、突出部が設けられている、

請求項 8 ~ 11 のいずれか一つに記載のモータ。

【請求項 13】

ステータを備え、

前記ステータは、複数の連結コアを備え、

前記連結コアは、連結部を介して連結された複数のピースを備え、

前記複数のピースのうち、前記連結コアの両端にある 2 つのピースの外周部には、突出部が設けられており、

前記複数の連結コアは環状に配置される、

モータ。

【請求項 14】

前記突出部は、前記ピースの外周部からせり出したせり出し部である、

請求項 13 に記載のモータ。

【請求項 15】

ハウジングを備え、

前記突出部は前記ハウジングの内面に接触する、

請求項 13 又は 14 に記載のモータ。

【請求項 16】

前記連結部の側部は、凹部を備え、

前記凹部の内側には弾性部材が配置される、

請求項 13 ~ 15 のいずれか一つに記載のモータ。

10

20

30

40

50